

知っていますか？

# 慢性疲労症候群

病気の内容と診断基準を徹底解説

予約不要  
参加費無料

慢性疲労症候群(CFS)とは、原因不明の強い疲労感が続き、微熱や頭痛、筋肉痛などが長期にわたって続く病気です。筋痛性脳脊髄炎(ME)とも呼ばれることがあります。国の指定難病にも指定されておらず、患者及びその家族は多くの苦勞があり、病気の周知や診断基準等の明確化が急務となっています。

平成  
30年

1月21日(日) 13:30-16:30

会場

えんてつホール

(13:10開場 13:30講演開始)

静岡県浜松市中区旭町12-1遠鉄百貨店新館8階

第一部 13:45~14:45

## 「患者の現状と未来への提言」

講師：石川 真紀(CFS支援ネットワーク会長)

石川氏は自ら慢性疲労症候群を患いながらも、全国にいる患者の力になろうとCFS支援ネットワークを立ち上げられました。日常生活が破綻するほどの全身性の難病ですが、病名から、休めばよくなる「慢性疲労」と誤解されやすい現状があります。患者の生の声をお伝え頂きます。



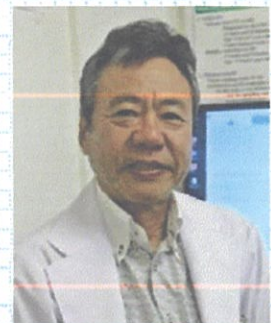
第二部 15:00~16:30

※県医師会生涯教育単位対応 1.5単位(CC 73)

## 「慢性疲労症候群の 病因・病態と診断基準」

講師：倉恒 弘彦(関西福祉科学大学健康福祉学部  
医学博士 学部長・教授)

倉恒医師は、厚生労働省の研究班代表を歴任するなど、ME/CFS医療において中心的役割を果たしてこられました。ME/CFSを理解して専門的に検査を実施する医療機関が大変少ないことから、開業医でも容易に出来る診断法を確立し、この度お話を頂きます。



お問い合わせ

主催：静岡県 共催：NPO法人静岡県難病団体連絡協議会

疾病対策課 TEL: 054-221-3393